

項目	記載事項
会社名	〇〇株式会社
氏名	〇〇 〇〇
レポートタイトル	Delphi/400WebアプリでAjax対応を行い入力業務の効率改善
(1) 業務課題	受注処理画面(Web)において「顧客コード」を入力するが、現状は、全ての画面項目を入力し実行キーを入力した時点で「顧客コード」のエラーチェックを行っていたため、入力エラー時の手戻りが多い。これを改め、「顧客コード」を入力した瞬間にエラーチェックを行うと共に「顧客名」を「顧客コード」の横に表示するようにし、受注入力業務の効率を改善したい。
(2) 技術課題	Web画面で入力状況に応じて都度入力チェックを行う、いわゆるAjaxの開発手法としてはJavaScriptの利用が一般的であるが、今後の保守を含めた開発工数削減のため、よりシンプルな仕組みで実装したい。今回、Delphi/400のVCL for the Web によりWebアプリケーションを開発しているため、VCL for the Web の仕組みで入力状況に応じた入力チェックを行いたい。
(3) 技術課題の解決策	VCL for the Web の入力用コンポーネント「IWEEdit」の中にある「OnAsync～」というイベントがAjaxに関連するものである。顧客コード入力欄にフォーカスインしたタイミングとフォーカスアウトしたタイミングとでイベント処理を行い、画面上の値が変更された際に顧客マスターより値を取得しチェックを行う(ソース1)。入力した値がマスターに存在しない場合、エラーメッセージを表示。また、マスターに存在する場合、顧客名を入力欄の横に表示することとした(図1)。
(4) 業務課題解決と効果	受注処理画面(Web)において、顧客コードを入力するだけで自動的にエラーチェックを実行できるので、個別にエンターキーを入力する必要がなく、オペレーションを効率化できた。また、顧客コードの入力と同時に顧客名を取得し画面上に表示できるため、別顧客のコードと入力を間違えた場合、オペレータに即座に気づかせることができ、誤りの修正が効率的にできるようになった。

(1)、(2)、(3)、(4) = 全角150~250文字

文字数目安について  
 文字数は目安ですので、当てはまらない場合はご相談ください。  
 ソースコードは本サンプルでは別添で作成いたしました。が、(3)の中に記載頂くことでも結構です。  
 その場合、上記文字数に加えて、ソースコードを追加記載ください。

技術情報について

- ・ ソースコードは必須ではありませんが、(3)は技術的な内容となるようご注意ください。
- ・ 本部門のご応募にあたり、弊社技術情報を直接引用頂くことは問題ありません。  
 (弊社テクニカルレポート、弊社ホームページTIPS、弊社テクニカルサポート回答、等)

## ソース1

```

40  { TIWForm1 }
.
.  procedure TIWForm1.edtCustCDAsyncEnter(Sender: TObject;
.  □ EventParams: TStringList);
.  begin
.  // フォーカス取得時、現時点の値（初期値）を変数に保持
.  FCustCode := edtCustCD.Text;
.  end;
.
.  procedure TIWForm1.edtCustCDAsyncExit(Sender: TObject;
50  □ EventParams: TStringList);
.  begin
.  // フォーカス終了時、初期値と値が変わった場合、処理を行う
.  if FCustCode <> edtCustCD.Text then
.  begin
.  // 顧客名欄を初期化（クリア）する
.  edtCustCD.BGColor := clWindow;
.  lblCustName.Caption := '';
.
.  // コード値が入力されている場合、顧客マスタ検索を行う。
60  if edtCustCD.Text <> '' then
.  begin
.  try
.  // GetCustName関数で顧客コードより顧客名を取得
.  lblCustName.Caption := GetCustName(edtCustCD.Text);
.  except
.  // エラー（例外生成）時、エラーメッセージを表示する
.  on E: Exception do
.  begin
.  edtCustCD.BGColor := clWebAQUA;
.  lblCustName.Caption := E.Message;
70  end;
.  end;
.  end;
.  end;
74  end;
.  end;

```

図1

